

会議議事録

				記録者	田中
供 覧	部長	課長	課長補佐	主査・係長	G 員
件 名	令和3年度第2回龍ヶ崎市行政経営評価委員会				
年 月 日	令和3年11月4日（木）				
時 間	午後2時00分～午後4時00分				
場 所	龍ヶ崎市役所 5階全員協議会室				
出席者	<p>【行政経営評価委員】 大橋純一 会長，加藤洋平 委員，松永信雄 委員，大山文彦 委員，栗山武志 委員，小林史人 委員，塚本裕 委員，石崎功雄 委員，野村由紀子 委員</p> <p>【事務局】 松尾市長公室長 〔企画課〕岡野課長，栗山課長補佐，小室課長補佐，記録者 〔シティセールス課〕廣田課長，関口係長</p>				
欠 席 者	土屋廣子 委員				
情報公開	<input type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 部分公開 <input type="checkbox"/> 非公開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	（龍ヶ崎市情報公開条例第9条号該当）		
		公開が可能となる時期 （可能な範囲で記入）			
発言者	内 容				
岡野課長	<p>定刻となりましたので、ただいまより、令和3年度第2回龍ヶ崎市行政経営評価委員会を開会いたします。当審議会は「龍ヶ崎市附属機関の会議の公開に関する条例」に基づき、原則公開となりますので、ご協力お願いいたします。なお、本日、傍聴人はおりません。ご報告させていただきます。それでは、はじめに、本委員会会長であります大橋会長から、ごあいさつを賜りたいと思います。</p>				
大橋会長	<p>皆様、本日は、お忙しい中お集まりくださり、ありがとうございます。</p> <p>前回の8月の第1回目の会議では、第2次ふるさと龍ヶ崎戦略プランの進捗評価について審議いただきました。今回はまず、令和2年度地方創生推進交付金の実績報告として、自慢したくなるふるさと「龍ヶ崎スタイル体験&定住促進」事業についてシティセールス課から報告いただいて、次に、その他として、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況について企画課から報告いただきます。今回の会議は、審議するといより質疑応答が中心になるかと思えます。その点よろしくお願いいたします。</p>				
岡野課長	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、本日の会議開催にあたり、注意点を説明させていただきます。</p> <p>まず、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議中はマスクを着用し飛沫感染防止</p>				

	<p>にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。また、換気のために窓を開けておりますので、ご了承ください。</p> <p>続きまして、会議の議事録作成のため、これまで同様、発言を録音させていただきますので、ご発言の際にはお手元のマイクのスイッチを押し、発言が終わりましたらスイッチをお切りいただきますよう、お願いいたします。</p> <p>ここからの議事進行は、龍ヶ崎市行政経営評価委員会条例第5条第1項の規定に基づき、大橋会長にお願いいたします。大橋会長、よろしくをお願いいたします。</p>
大橋会長	<p>では、議事に入ります前に、本日の会議の成立について、確認したいと思います。本日は、委員数10名のところ、土屋委員1名が欠席し、9名が出席しております。過半数以上の委員が出席しており、会議が成立していることをご報告いたします。</p> <p>次に、議事録署名人を野村委員と大山委員にお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入ります。最初に、シティセールス課からの報告、お願いいたします。</p>
事務局	<p>《シティセールス課から、自慢したくなるふるさと「龍ヶ崎スタイル体験&定住促進」事業について説明》</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。これから質疑応答に移ります。報告について、遠慮なくご意見いただければと思います。</p>
塚本委員	<p>鈴川さんのチャンネルの登録者数が80万人というのは、一般的に多いのですか、少ないのですか。動画再生回数にしても、すごい人と1億回くらいというのを聞いたことがあるのですが、鈴川さんの動画再生回数は、費用対効果で考えて妥当な回数なのですか。</p>
関口係長	<p>登録者数は、子育て世代向けの鉄道系 YouTuber としてはかなり多いと聞いております。鈴川さんは広告配信などを使っておらず、多い方だと広告を使っていたりする場合がありますので一概に明確なお答えができませんが、自分たちとしてはもう少し伸びてもよかったかなと考えております。</p>
塚本委員	<p>この鉄道系 YouTuber の方をお願いした経緯はどういうものですか。いろいろな分野の方がいらっしゃると思いますが、どういう経緯でお願いしたのでしょうか。</p>
関口係長	<p>まず、駅名改称のタイミングをきっかけに市へのアクセスを知っていただきたかったためです。</p> <p>次に、龍ヶ崎市の資源の中で、関東鉄道竜ヶ崎線があることから、鉄道に強い YouTuber の方を採用したためです。</p>
大橋会長	<p>続いて石崎さん、どうぞ。</p>
石崎委員	<p>3 ページ目の実績のところ、龍ヶ崎へ「絶対に行ってみたい」というかなり前向きな回答がありますが、この回答の背景の意識には、遊びに行ってみたいという意識があるのか、それとも将来自分が住んでみたいという意識が多少なりともあるのか、わかる範囲でご紹介ください。どこまで回答結果を掘り下げできているかわかりませんが、次のプロモーションにも関わってくる話だと思いますので。</p>
関口係長	<p>遊びに行ってみたいかという質問なので、おそらく移住というところまでは想定して回答している方は少ないのではないかなと推察いたします。ただ、まずは来てもらわないと街の雰囲気伝わらないと考えておりますので、将来の移住顧客としての可能性はあると考えています。</p>

大橋会長	他にいかがでしょうか。
松永委員	<p>同じく 3 ページの実績のところ、Web サイトの“通常同様記事平均”とありますが、“通常記事”とは何ですか。</p> <p>また、閲覧者年齢が出ていますが、記載されているのは、一番多い層ですか。例えば 50 歳がもっと多いのか、全体を見られなかったので、お聞きしたいです。</p>
関口係長	<p>まず、“通常同様記事平均”については、るるぶキッズさんの同じようなイベント紹介記事との比較です。</p> <p>次に、閲覧者年齢は、アナリティクスという Web サイトのシステムと、るるぶサイトから出ているものです。今回の記事に関しては、65 歳以上の方も 3 割弱の同じぐらいの割合で見られているので、幅広い年代には見られていると考えています。</p>
大橋会長	他にいかがでしょうか。
栗山委員	<p>市を知ってもらおうということでは、成果が出ているので、良いのかなと思いました。ただ、閲覧者として記載されている約 3 割の子育て世代の方々以外にも、7 割の色々な方々がいるので、今後の展開の中ではターゲットを子育て世代以外の方々にも広げていく必要があるのかなと思いました。</p> <p>また、駅名変更ということで、今回はソフト面を中心に実施したと思いますが、居住を目的にされている方のことを考えるとインフラ整備も必要になってくるかと思っておりますので、龍ヶ崎市駅の周りの発展も必要なのかなと思いました。</p>
大橋会長	子育て世代以外にもターゲットを広げたらどうか、という提案だと思っておりますが、いかがでしょうか。
廣田課長	<p>そうですね、幅広い方々に龍ヶ崎へ来てもらうということは大変良いと考えておりますが、今年度と来年度は、本市の政策として、若者・子育て世代を対象に、戦略プランに基づいて取り組んで参ります。</p> <p>今後、最上位計画を踏まえながら、世代を幅広く捉えていく必要があると思います。重点的には若者・子育て世代というところになりますけれども、本市の魅力や都心への近接などの優位性を体験するテレワーク移住体験ツアーなども展開をして、幅広いところへ声かけしていければと考えています。</p>
大橋会長	はい、ありがとうございます。 大山委員、どうぞ。
大山委員	魅力発信・移住フェアを令和 4 年度に市内及び市外で 1 回以上開催となっておりますが、市内開催分については単独開催を検討されているのでしょうか、他自治体との共同開催のようなイメージを検討されているのでしょうか。
関口係長	現段階では確定していませんが、単独開催を想定しています。ただ一方で、県主催の移住フェアなどもやっておりますので、他自治体と一緒に事業を行うことは可能かなと思っています。
大山委員	併せてですが、今回行われたオンラインイベントの参加者や参加申込者に、今後イベント案内などを市から行うことについての同意を得られていますか。
関口係長	残念ながら得られておりません。メールアドレスのみで参加していただくような形をとってございましたので。

大山委員	<p>情報発信という意味から考えると、今後こうしたイベント等を企画される際には、継続的な情報発信ができるように参加者の方の同意のもと、再発信できるような体制を準備していただいたほうが良いかと思います。</p>
大橋会長	<p>ありがとうございます。 どうぞ。</p>
加藤委員	<p>鈴川さんのYouTube動画を拝見して、市の魅力とかが伝わる部分はあるのか、と個人的には思いました。シティプロモーションが上手くできている他自治体では、街の特長を示す明確なメッセージなりキャッチコピーがあると思います。例えば流山市だったら、“母になるなら流山”と、有名なキャッチコピーを使い、街の特長をうまいこと出しながらやっています。情報接触の機会を増やしていくこと、いろいろな媒体で情報を出すことは、今後の展開として重要ですけど、情報を単にたくさん垂れ流していくのは意味がないので、何かしら明確なメッセージやキャッチコピーを使いながら市の魅力を伝えていくことが必要なのかなと個人的に思いました。</p>
大橋会長	<p>はい、どうもありがとうございます。 私からの質問なのですが、令和3年度事業のところにPR動画制作と書いてありますが、また動画を作るのでしょうか。</p>
関口係長	<p>こちらは現在作業を行っているところです。</p>
大橋会長	<p>わかりました。 加藤委員の発言とも関連するのですが、私も鈴川さんの動画を見て、果たして「龍ヶ崎に行きたいか」と思うと、「なかなか行きたいとは思わない」と感じました。たつのこやまとか機関車とか飛行場とかがあるのだけど、たつのこやまが売りになるかと言うとそうでもないし、飛行場の飛行機も簡単に乗れるものでもないと思います。 やはり一番大事なのは、子育てで何がいま一番求められているかを考え、それをメッセージではっきり打ち出すことだと思います。子育て日本一とうたっているのに、他市ではどういうことをやっているのか、例えば、保育所が駅のすぐそばにあるのかどうか、医療費を助成しているのかどうか、教育の面ではどういうことをやっているのか、などを考え、訴えることが非常に重要だと思います。PR方法も、例えば、お母さんが駅のすぐそばの保育所へ子どもを預けてすぐ電車に乗って勤めに行くシーンや、病院の近くで便利に買い物しているシーンを撮るとか、子育て世帯がいま何を望んでいるのかをよく考えると良いと思います。保育の面、医療の面、買い物の面、教育の面、大体この4つぐらいが子育てしているお母さんたちが一番関心を持っていることだと思いますから、その辺に焦点を当てたプロモーションビデオ等を作っていただければと思います。いま制作している動画も、そういうところに焦点を当て、訴えていただければ良いのではないかなと感じます。 不動産も、実際に動画で撮って金額を示すと、“それだけの値段でこんなものが買えるのか”と思ってもらえると思います。消費者の立場で何が一番求められているのかももう少し考えていただければなと思いました。 他にも何かありましたら、遠慮なく皆さんからどうぞ。</p>
野村委員	<p>私自身、龍ヶ崎市に全く縁がない状態でよそから主人と引っ越してきました。子育てしている状態で、魅力を感じたのでここに引っ越して来ました。 観光で来るだけでは、生活するところは見えないと思います。例えば、札幌へ行って味噌ラーメンを食べたいとか京都へ行って神社を見たいとなった時と、そこに暮らしたいか</p>

	<p>という時とでは、必要な情報は全く別になってくると思います。</p> <p>私は観光ではなく、主人の仕事の関係で一時的に龍ヶ崎に住んでみて、わかったことがあります。実際に引っ越してきて、「こういうところが龍ヶ崎はすごく便利だよ」とか、「不便に思えるかもしれないけどこういうところがすごく助かっているよ」というのを住んでいる人から聞いてわかったこともありました。例えば、医療費助成が18歳まであるとか、保育園の待機児童がないとか、お母さんに対してすごく魅力的なこと。たつのこやまみたいな場所があって、自然が豊富で、小さな子供が天気の良い日に広々遊べて、家に庭がなくても遊びに出かけられること。徒歩圏内または自転車圏内に普段の食べものを買えるスーパーがあって、おむつや粉ミルクを買えるドラッグストアがあること。パンツや靴下を買える店があること。仮に車が1台もなかったとしても、とりあえず住み始めることができる環境が、すごく安心感に繋がりました。田舎だろうと思っていたがそうでもないと思った、というのが、すごく感じたところです。</p> <p>あと、新築の家を買いたい時、東京と相場がどのくらい違うのか行って調べてみようというのには、ちょっと距離があると思います。相場がどのくらいなのかがわかって、手が届くかと思ったときにやっと興味が出てきて、実際に不動産屋さんへ行って見てみようとか、モデルルームがあったら見てみようとなるのだと思います。行動に移してもらうには、きっかけや参考になる情報が必要です。</p> <p>大橋会長がおっしゃっていたように、これからPR動画を作る時は、住んでいる子育て世代の人にアンケートを取ったりインタビューしたりし、知ることによってここに住もうと思える情報を集めたものを発信してもらえると良いかなと思いました。観光先としてではなく、実際に住みたい場所と思ってもらえるような、生活に根づいた情報が伝わるようなものを作っていただけると良いかなと思いました。</p>
大橋会長	はい、どうもありがとうございます
松尾市長公室長	<p>往々にして行政が発信する情報は、綺麗なところを満遍なく寄せ集めたような情報になってしまい、見た目は綺麗かもしれないですが、実態がなかなか伝わりづらい側面があるのだろうとっております。来ていただいて、生活の場として選択していただくには、どのような生活ができるのかイメージを持っていただくことが大切で、そのためには実際に住んでいる同じような境遇の方の声を上手に伝えていくことが大切なのかなとっております。そして、良いところばかり伝えても駄目なのかもしれないです。こういうところは不便ですと正直に言って、きちんと選択していただくことが大切なのかなとっております。</p> <p>また、子育て世代だけで良いのかどうかも議論することが大切なのかなと思います。これまでですと、最上位計画に子育て環境日本一という重点目標があって、どうしても子育て世代を中心に活動してきましたが、これから先を考えると、本当にそれだけで良いのかどうかをいま考え直さなければいけない時期なのかもしれないともっております。</p> <p>さらには、これまでは東京方面からいかに人に入ってもらうかということを取り組んできたところですが、就業先や転入・転出先を市民の方へ調査すると、必ずしも東京方面からでもないということがわかってきております。ですから、東京方面を重視しなければならないのは変わらないにしても、県内や近隣の千葉県も意識していけないといけないかなとっております。</p> <p>ご意見、非常に参考になる話だと思いますので、令和3年度以降の取組では、十分考慮していければと思っております。</p>

大橋会長	どうもありがとうございます。
石崎委員	<p>私も鈴川さんの動画を見ましたが、寂しいなという印象です。満遍なく紹介はされているのですが、龍ヶ崎へ遊びに行くという話だと次につながりにくいなという印象です。次のプロモーションにつなげる分析ができているのか、戦略的な意図をもったプロモーションだったのか、という思いがあって先ほどもお聞きしました。</p> <p>子育てだけではないというお話がありましたが、私もそう思います。テレワークもこれだけ普及し始めました。このまま一気に全国的に普及率が上がるとは思いませんが、コロナが収まれば働き方は前の環境に少しずつ回帰するところもあると思いますが、都心ではなくて地方に住みながらテレワーク環境を求める方は、今後も一定量はいらっしゃると思います。それは、子育てとあいまったところで考えることだと思います。流通経済大学さんはスポーツがかなり盛んな大学です。このスポーツをうまく展開できれば、テレワークしながらスポーツを楽しむ環境が醸成できる可能性があると思います。スポーツに触れる環境が整っているというのは、選択肢の1つになってくるのかなという気がします。</p>
大橋会長	はい。 どうぞ。
小林委員	<p>空き家対策の問題がなかなか難しいなと思っています。令和2年度のKPIが11件に対し実績が1件。なかなか進んでいないですね。生活安全課さんとか都市計画課さんとかでやるのは難しく、専門部署を作らないと、ずっとこの会議で言ってきたのですが、なかなか進んでいきません。</p> <p>シティセールス課さんが、PR動画で龍ヶ崎の認知度をUPさせようと頑張っている中、龍ヶ崎に住みたいという声も出ていますと実感していますが、賃貸物件も売物件も非常に少なくなっています。マッチする物件を選べるかという点で難しい状況です。また、土地が買えないという事態も起きていて、使っていない空き地や壊せば土地になるような古い家のところへ売って下さいと不動産屋から一生懸命アピールしても、よくわかりませんと断られてしまうので、市が介入することで安心感を増やす取組を推進していただきたいです。</p> <p>PRしておいて、住む家がありませんとなると、結果的に何のためにPRしているのかわからないというのが現場の声です。空き家を再活用するという点で実績数を伸ばすには、やはり専門部署が本腰入れて物件を揃えないとなかなか難しいです。利根町、稲敷市、牛久市には、空き家対策課が専門部署としてあります。年間通して龍ヶ崎市だけ活用数の情報が全然届いてこないです。専門部署がないからだと思います。二の次三の次になってしまっています。生活安全課さんも、どうやれば良いかわからない部分があると思うので、メスを入れなければならないと思います。</p> <p>あともう1つ。談合の話があり、「家を建てたばかりですが家を売ります」という相談がありました。「住宅ローンは残っているのですが、もうこのまちに住み続ける自信がありませんので家を売ります」と出ていかれました。来て下さいと言っても、現状では出ていってしまう方もいらっしゃるのです。しっかり対策しないといけないです。入る人も確保しなくてはいけないですし、両方をしっかり対策しなければならないと感じているところです。</p> <p>回答は必要ないです。以上です。</p>
大橋会長	空家対策室とは違う部署が必要ということですか。
小林委員	はい。生活安全課さんの中には空家対策室があり、何人かの担当の方がどれほどの熱量

	で現状把握しているかわかりませんが、牛久、利根、稲敷、その他の近隣市町村の空き家物件の情報は来るのに、龍ヶ崎は空き家がたくさんあるのに情報が全然来ません。
大橋会長	これはすみません、対策室の問題かもしれないので、対策室のほうへお願いします。
松尾市長公室長	いくら定住促進しても、受け皿になるものがないというのは、やはり取組として不十分だろうと思っています。重々承知しているところであります。担当者に、どうして市町村間で活動量の違いが出るのかということや、活動量の違いを分析すれば次の一手が打てるのではないかということ、話してみたいと思います。申し訳ございません。
大橋会長	はい、よろしく願いいたします。
松永委員	資料2ページの主な事業・交付対象額という表について確認させてください。令和3年度の市民参加型子育て環境PR動画制作・広告配信や、令和4年度の魅力発信・移住フェア開催は、予定どおり進んでいるという認識でよろしいでしょうか。
関口係長	はい、そのとおりです。
松永委員	そうすると、令和3年度は子育て環境PR動画の作成ということですね。
関口係長	はい。
松永委員	先ほどから令和4年度は幅広く移住関係を強化していくという話が出ていますが、令和3年度は子育てに特化したPR動画を作っていたらっしゃる途中だということで、そこは変わらない訳ですね。わかりました。
大橋会長	どうもありがとうございます。 では、だいぶ意見が出たので、自慢したくなるふるさと「龍ヶ崎スタイル体験&定住促進」事業については、これで終了させていただきます。シティセールス課の方は、出た意見等を参考にして、今後事業を進めていただければと思います。よろしく願いいたします。 続きまして企画課から、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用状況について、お願いいたします。
事務局	《企画課から、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の活用について説明》
大橋会長	どうもありがとうございます。 質問等ございますか。いかがでしょうか。
小林委員	まず、令和2年度の対象主要事業の「37.市庁舎等窓口キャッシュレス決済導入事業」についてですが、会議の前に市民窓口課へ行った際、Suicaの支払いについて聞いたら、使い方が難しいというようなこと聞いたので、使い方の指導と、使えることの市民への周知を、お願いできればと思いました。 次に、令和3年度の対象主要事業の「8.新型コロナウイルス感染症対策リーフレット作成・配布」は、令和2年度の対象主要事業の「35.ガイドブック作成」と何が異なるのですか。配ることによって何か変わるのですか。何か違いはあるのですか。配布は市側の自己満足のような気がして、予算をかけるのがもったいないように感じています。
小室課長補佐	2つ目についてですが、基本的には昨年度と同じような内容になっていくかと思います。高齢者の方を中心に紙媒体でないコロナの状況を見られない方がいらっしゃいますの

	<p>で、紙での周知が必要という認識です。具体的な内容としては、ワクチン接種の情報や、感染予防対策をまとめたものを、刊行しようと考えているところです。</p>
岡野課長	<p>1つ目の市民窓口課の話ですが、今年8月から、市民窓口課、税務課、西部出張所、東部出張所、市民窓口ステーションの5カ所でキャッシュレス決済が可能になり、Suicaや、クレジットカードや電子マネーも、使えるようになっていきます。市民窓口課には、適切に周知等を行うよう伝えたいと思います。</p>
大橋会長	<p>対象主要事業が令和2年度から令和3年度にかけてだいぶ減っているのは、どういうことなのでしょう。</p>
小室課長補佐	<p>充当する国の交付金が令和2年度の繰越分のみとなっておりますことから事業数は少なくなっているということです。今後、国から、交付額の増額の話や、令和4年以降の話が来た際、すぐ対応できるよう、事業案の検討はしておりますが、補助枠の上限があるので、予算執行状況を見ながら調整しているところです。</p>
大橋会長	<p>どうもありがとうございます。 他の委員の方どうでしょうか。よろしいですか。 では、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金の活用についての質疑応答は、終わりにしたいと思います。ありがとうございました。 本日の議題は以上で終わりになります。議事進行を事務局にお返しいたします。</p>
岡野課長	<p>本日は長時間にわたるご審議、本当にありがとうございました。委員の皆様からいただいたご意見等を今後の事業等に反映して取組を進めて参りたいと考えております。 会長及び議事録署名人の2人には、議事録の確認と署名を後日お願いいたします。 なお、この行政経営評価委員会についてでございますが、本日もご出席いただいております委員の皆様での会議は本日が最後となります。皆様には令和元年度から約3年間にわたり、活発なご意見を頂戴し、有意義な審議をいただきましたこと、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。また、今後も、本市のさらなる発展のためお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。 それでは以上をもちまして、令和3年度第2回龍ヶ崎市行政経営評価委員会を閉会させていただきます。 本日は、ありがとうございました。</p>
<p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">委 員 長 _____</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 _____</p> <p style="text-align: right;">議事録署名人 _____</p>	